

『アタマにくる一言へのとっさの対応術』 バルバラ・ベルクハン

学校、アルバイト、家——どんなところでも、頭にくる一言ってありますよね。言い返したいけどその場では難しい……相手は悪気がないかもしれない……相手との関係は壊したくない……そんな時に、自分も相手も傷つけずに心を守る、知って損のない“言葉の護身術”を学べる本です。



『傲慢と善良』 辻村 深月

この本は現代の恋愛観・人間関係・家族の在り方に切り込む、静かで鋭いミステリー。「人を理解する」とは何なのか、「優しさ」と「無関心」はどう違うのか、誰かと“本当の関係”を築くとは、どういうことか——。これは大人の話ですが、大人になる前に知っておきたい現実が詰まっています。今このタイミングに読むことで、きっとあなたの“これから”が少し変わるはずです。



図書だより 令和7年夏号 高校時代に 出会って ほしい本

図書委員会広報班夏号



『ち。-地球の運動について-』 魚豊

この漫画は、天文学に興味がないなあと言う人にこそ読んでほしいと思います！なぜならこれは、今我々の「知る」そして「学ぶ」というありがたさと共にそこに確かにある感動を移し描いてあると感じさらなる共感を求め、勉強の意欲になると思うからです。



『ガラスのうさぎ』 高木敏子

空襲で最愛の家族を失った少女。大切なものを奪われたその胸の痛みと、戦火の中でも前を向いて生きようとする強さが心を打つ。戦争の悲しさと命の重みを、私たちに静かに語りかけてくれる一冊です。

人は 話し方が 9割 永松 茂久 Hisamasa Sugita

1分で人を動かし、
100%好かれる話し方のコツ

『人は話し方が9割』 永松茂久

この本は、話し方のテクニックよりも、相手を思いやる“心の持ち方”が大事だと教えてくれます。「話すのが苦手…」と思っている高校生こそ、読んでみてほしい一冊です。読むと、「自分にもできるかも」と前向きな気持ちになれます。